

資料3

平成30年度 食品ロス削減のための商慣習検討ワーキングチーム 日配品の商慣習に関する検討会

## 需要予測向上にむけた取り組み

2018年11月7日 日本電気株式会社 マーケティング・ニュービジネス本部

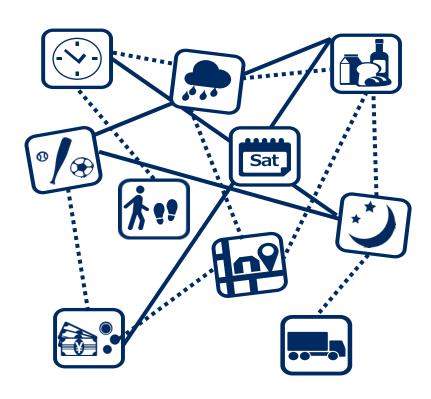


## 予測分析:高まるニーズ、広がる領域



#### 予測分析におけるポイント

大量かつ多種多様で 複雑なデータを扱う 人が理解・納得し 利用できる



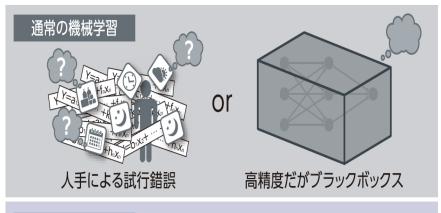


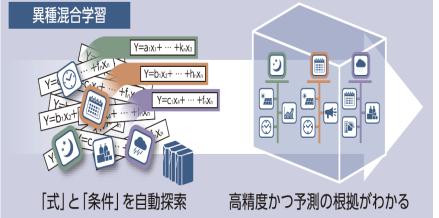
## 「外部要因(影響因子)」と「AI活用(精度・解釈性)」

外部要因 (影響因子) の活用



高い予測精度と高い解釈性を実現 するAI(異種混合学習技術)





#### 需要予測に求められる要件:異種混合学習技術①

社会課題のように答えが一つではない問題を解く際の、人間が意思決定を行う為の 「なぜそれを選ぶべきか」という理由(判断根拠)の説明を示すことが可能。

> 人は、高度な判断や創造性の 発揮に力を注ぐ事が出来る

### Black Box型

発見したルールを説明できない

## 圧倒的な効率化

ゴールが定まった問題

安全な街

品質管理

# White Box型

発見したルールを説明できる

# 人への示唆の高度化

ゴールが1つに定まらない問題

経営判断

新商品開発

対人ケア

対処 Prescription

分析 Analysis

見える化 Visualization

#### 需要予測に求められる要件:異種混合学習技術②

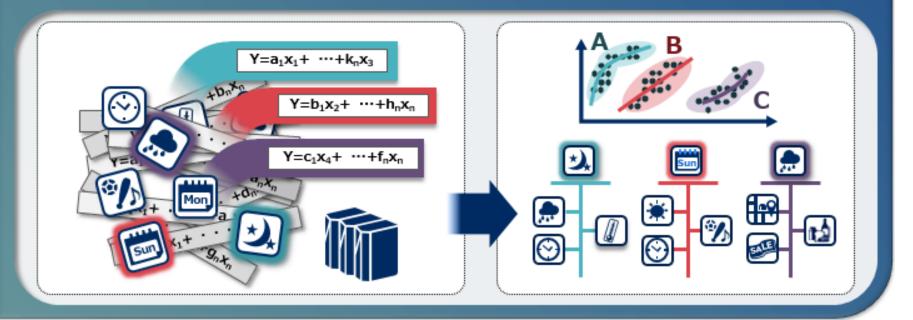
多種多様なデータに混在するデータ同士の関連性から、特定の規則性を自動で 発見するとともに、分析するデータに応じて参照する規則を切り替え。

## 学習アルゴリズム

膨大な予測モデルの候補から 複数の規則性(予測式)とそれが 成立する条件を自動的に導きだす。

#### 予測モデル

データ区分に応じて最適な予測式を 適用するので、高精度の予測ができる。 予測の算出根拠が明らかで透明性が高い。



#### 異種混合学習技術を活用した需要予測プロセス

出荷に影響を及ぼしている因子を選択・整備。予測に必要なデータだけを分析するために、 ノイズが排除された最適な予測モデルの作成が可能。

#### 予測因子選択·整備 (過去データ)

■自社保有データ



■社外情報



学習・分析・予測モデル作成 (AI:異種混合学習技術)

#### データ相関を分析し、 影響因子特定



#### 解釈性の高い予測式の策定

予測式 :  $Y_1 = a_0 x_0 + a_1 x_1 + \cdots + a_{50} x_{50}$ 

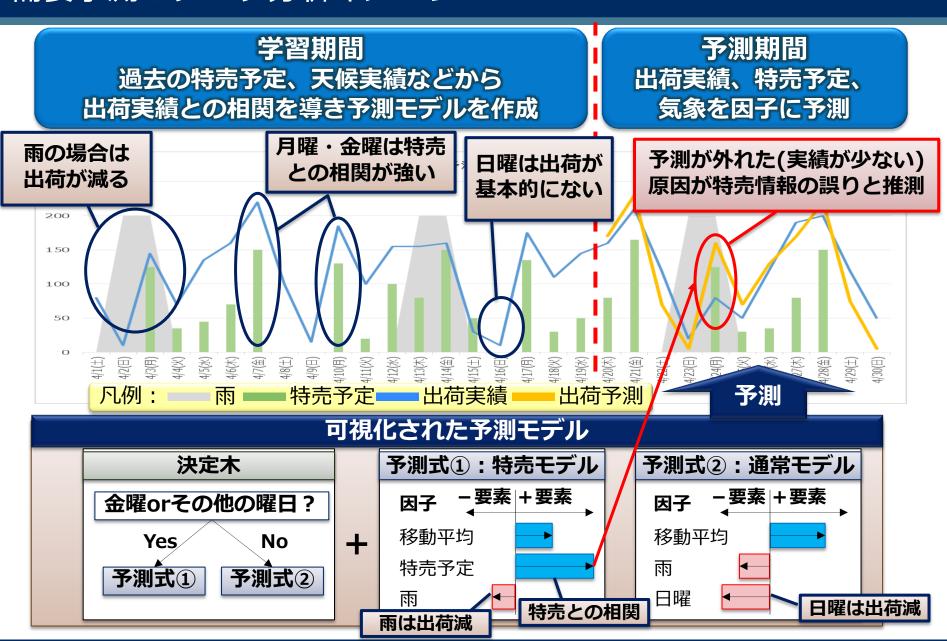
予測式 :  $Y_n = a_0 x_0 + a_1 x_1 + \cdots + a_{50} x_{50}$ 

#### 予測値算出

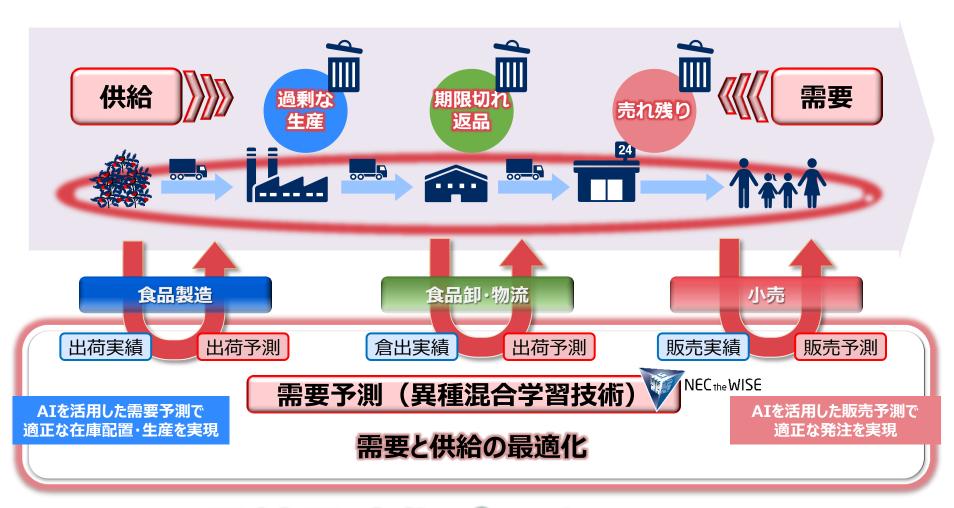


専門家がいなくても 高精度の予測精度と 解釈性を実現

#### 需要予測:データ分析イメージ



#### (参考) NECの需給最適化プラットフォーム



# 需給最適化プラットフォーム

需給バランスのとれたバリューチェーン構築により、"食料ロス・廃棄"を削減

#### (参考) 需給最適化プラットフォーム 無料体験版のご案内



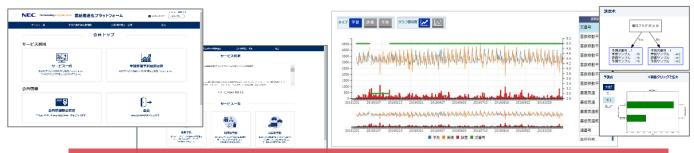
#### 需給最適化プラットフォーム



で検索

<a href="https://jpn.nec.com/vci/optimization/index.html">https://jpn.nec.com/vci/optimization/index.html</a>

※ご利用には事前会員登録が必要です



NECの独自のAI技術"異種混合学習"の操作感を体験できます 予測結果に加えて「なぜその予測がでたのか」も知ることができます。

# \Orchestrating a brighter world

